

「減災シンポジウム in 中津市」

—災害多発時代を生きるために—

1. 現状と課題

近年、日本全国で自然災害が多発化し、その被害も激甚化・多様化する中、市では、地域防災力を高めるため、家庭での備蓄に対する取り組み、防災士協議会の設立、自主防災組織の組織化の推進等、自助・共助の取り組みに重点を置き、防災・減災に対する対策を進めており、住民の防災に対する意識も高まりつつあります。

これからさらに地域防災力を強化するためには、次世代を担う若者世代における防災意識の向上が必要です。

2. 目的

このシンポジウムは、大分大学減災・復興デザイン教育研究センターの主催で行われ、昨年度の日田市での開催に続く開催となります。

災害多発時代を生きるをテーマに、関係機関や市民の皆様、そして次世代を担う若者と一緒に地域防災・減災について考えていただくことで、市民の皆様の防災・減災意識の向上を図ることを目的としています。

3. 内容

◇日時 令和2年1月26日（日） 13時 開場 13時30分 開演

◇場所 中津文化会館 大ホール

◇内容 **1. 講演**

「災害を知る」 ～中津市における災害の歴史や地形からリスクを知る～

講師：大分大学減災・復興デザイン教育研究センター

次長 鶴成 悦久 氏

2. 意見発表

「若者の目で見えた過去の災害」～高校生・大学生による減災社会への提言～

発表者：大分大学及び中津北高校の学生

3. パネルディスカッション

「みんなで地域防災・減災を考える」

- ・パネラー：中津市長、市民代表、中津北高校学生代表、大分県生活環境部防災局防災危機管理監、国土交通省九州地方整備局山国川河川事務所長、気象庁大分地方气象台長
- ・コメンター：九州大学大学院工学研究院附属 アジア防災研究センター教授
- ・コーディネーター：大分大学減災・復興デザイン教育研究センター次長

◇入場料 無料

【問合先】

防災危機管理課 担当：門脇、小屋野
(TEL：0979-22-1111・内線 271)